

「広報さつま」2019年1月号に、本校生徒の記事が掲載されましたので紹介します。

高畑に子どもたちの笑顔あふれる 校生と園児がイモ掘り

11月10日、薩摩中央高校の実習農場でサツマイモの収穫祭が開催され、町内の園児など約300人が参加しました。宮之城ロータリークラブと同校の農業クラブであるインターアクトクラブが主催。苗の植付けや日々の環境整備、収穫前のツル払いなど準備を進めてきました。当日は高校生も収穫を手伝い、園児は大量のイモに大喜び。3年生で会長の田口健太郎さんは「準備は大変でしたが、楽しそうな姿が見られて頑張った甲斐がありました」と話しました。



高校生に手伝ってもらいイモ掘りを楽しみました

児童生徒が一日保育体験

11月17日と24日、町内のこども園や保育園で一日保育体験講座が実施され、さつまふるさと体験塾の塾生や町内の各中学校と薩摩中央高校の希望者48人が参加しました。参加者たちは、園児たちとの遊びや先生たちの手伝いなどを体験。薩摩中央高校2年の池之野愛花さんは「小さい子は元気いっぱい可愛くてとても癒されました。来年もぜひ参加したいです」と感想を述べました。



ふれあいを通して家庭の大切さを学びました



「広報さつま」2019年1月号